

佐野市伊勢山保育園の今後の運営について

1. 伊勢山保育園の位置付け及び保育の現状

伊勢山保育園については、第2次佐野市保育所整備運営計画において「暫定的に存続する公立保育所」として位置づけられ、保育の需給バランスを考慮し、園の閉鎖や他の用途への転換を図るとされています。

園舎は建築後35年が経過して老朽化が進んでおり、年々、修繕箇所が増加し、借地に立地しているなど、良好な保育環境を維持することが難しくなっております。

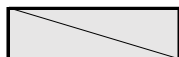
また、伊勢山保育園の令和5年7月現在の入所率は58.3%（公立・民間を含む全体では87.0%）と低く、市全体としては、保育需要は安定しているため、伊勢山保育園の閉園に向けた運営を進めていくことになりました。

2. 閉園に向けた運営とその時期

伊勢山保育園については令和10年度末に閉園を予定しており、令和6年度以降0歳児クラスから段階的に受入を停止しております。

具体的には、令和6年度には0歳児のみ、令和7年度には0歳児に加えて1歳児、と受入れを停止する年齢クラスを段階的に拡大し、閉園に向けた受入人数の調整を行います。（下図のイメージのとおり）現在の在園児の方は、基本的に卒園まで伊勢山保育園に在園することができます。

区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
0歳児						
1歳児						
2歳児						
3歳児						
4歳児						
5歳児						



…受入停止

3. 今後の対応について

令和6年度の入園案内から、上記の運営方針を踏まえて募集を行っております。なお、令和10年度に向けた段階的な受入れの制限を進めながらも、国の動向や市全体の保育を取り巻く状況等によっては、閉園時期の見直しや他の用途への転換・利活用を行う可能性があります。

保護者の皆様には、ご迷惑をお掛けしますが、何卒、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。